

Hello fellow Obuse citizens! I am David Hylton, the 2020-21 chairperson of the Obuse Town Planning Committee. I am looking forward to working with you to make Obuse the best place to live and work in Japan. Here is some information about me:

Family Life: I was born in Springdale, Arkansas, USA. I have lived a total of 28 years in Japan, and 24 of those have been in Obuse. I married a Japanese woman and raised three children in Obuse town.

Education: My university degree is in Social Anthropology, and I have done graduate studies in City and Regional Planning.

Work: I have worked in English Education for almost 20 years, teaching kindergarten through university. I now teach English at Nagano City elementary schools. I also manage my family's U.S. based holding company, BLTnetwork, LLC.

Goals: I want to encourage better communication and increase citizen participation. In this respect I see myself not as a manager or as an educator, but as a coach who is trying to build a team with many different players with different skill sets. So let's recruit many new members of different genders, ages and interests.

Thank you for reading my introduction. Let's enjoy planning a bright future together!

David Hylton



デイビッド・ヒルトン

こんにちは小布施町の皆さん。
私は2020年度の小布施まちづくり委員会会長のデイビッド・ヒルトンです。
まちづくりの活動を通して小布施町の生活が快適なものになることを楽しみにしています。

自己紹介をします。私はアメリカ合衆国アーカンソー州スプリングデールで生まれました。大学では社会人類学を学び、「都市と地域計画」について大学院で研究しました。日本に28年間住み、そのうち24年間は小布施町に住んでいます。日本人女性と結婚

し、この小布施町で3人の子供を育てました。

私は幼稚園から大学まで20年近く英語教育に携わりました。今は長野市の小学校で英語を教えています。また、家族がアメリカに拠点を置く株式会社BLTnetwork, LLCも管理しています。

まちづくり委員会での目標はコミュニケーションを促進し、町民参加を増やすことです。スポーツチームに例えれば、まちづくり委員会の会長は「監督」の立場です。しかし、私はスキルを持つ多くの選手と一緒にチームを構築する「コーチ」としての役割を担いたいと思います。

性別、年齢、興味のある様々なメンバーが小布施まちづくり委員会に参加することを願っています。

ここまで私の挨拶を読んできてありがとうございます。一緒に明るい小布施町の未来を考え、まちづくりの活動を楽しみましょう。

おぶせまちづくりボイス MACHI NUKURU VOICICE.

2008(平成20)年12月18日創刊
©小布施まちづくり委員会

発行: 小布施まちづくり委員会
会長: デイビッド・ヒルトン
事務局: 小布施町役場企画政策課
定住交流係
編集: 小布施まちづくり委員会
広報委員会

6部会で
スタート

今年度の事業計画

安全を考える部会

- ・防災かるたの作成
- ・防災・避難・資料作成
- ・第4回おぶせ住民防災講座の開催
- ・空き家防災見回り
- ・防災語らい座の開催

環境を考える部会

- ・小学校4年生向け土づくり
- ・丸ナス栽培 食育講座開催
- ・小学校4年生向け落ち葉堆肥作り
- ・食育映画上映会 吉田俊道先生講演会開催 (共育部会との共催)

交流を考える部会

- ・餅つき大会とお絵かき教室の開催
- ・多文化交流会の開催
- ・交流先進地域との交流

共育を考える部会

- ・第9回おぶせ未来会議の開催
- ・おぶせ口頭詩の募集
- ・食育映画上映会 吉田俊道先生講演会開催 (環境部会との共催)

福祉を考える部会

- ・おぶせ版「自分史・未来日記」の原稿作成・製本作業

議員のなり手不足を考える部会

- ・現在の選挙制度や今後の議会の在り方について学びながら、議員のなり手不足解消に向けて提案

新規部会長にインタビュー

議員のなり手不足を考える部会

今年度、新たな部会「議員

のなり手不足を考える部会」が小布施まちづくり委員会に誕生しました。部会長である市川博之さんにお聞きしました。



市川博之 部会長

ができるのか、若い世代が仕事をしながら、議員を兼務できるのかなど、より具体的な

Q どうしてこの「議員の

なり手不足を考える部会」を立ち上げようと思ったのですか？

A 平成31年4月に行われた小布施町議会議員選挙において様々な声が上がりました。

このまま次回の選挙を迎えるまで何もしないのか？ 考えた結果、一町民として問題提起しようと思いました。

Q 部会ではどんなことに取り組んでいきたいですか？

A 現在の議会制度や選挙制度から新しい議員さんが立候補しやすい体制を整えること



乳幼児健診とコラボ 脳科学パンフレット配布

共育を考える部会

共育部会では、乳幼児健診で赤ちゃんに絵本を届けるブックスタートのお手伝いをしていきます。その折、部会独自で作成した、脳科学パンフレット「乳幼児期を大切に脳をしっかりと育てよう」を保護者に手渡しています。

に検討し現在の議会の置かれている環境の中でどのようなことが実現可能なのか、現役議員さんからも意見をいただき、検討していきます。

Q 部会の最終目標は？

A 提案書としてまとめ、町議会の検討会に提出し次期小

手のひらに収まる小さな物ですが、毎日の生活リズム、声かけやタッチ、五感を適度に刺激する…などの大切さを伝えていきます。赤ちゃんは、そばにいる大人の応答や、やさしい働きかけに、安心や喜びを感じて成長します。

健診会場では、絵本を通して

一緒に楽しい時間を共有できる赤ちゃんの姿が見られます。保護者の方々は、ちょっとした気遣いが赤ちゃんの脳を育てることに驚いていました。

子どもが成長するためには多くの人の支えが必要です。いつも頑張っている保護者の姿に、共育部会はその支えの一つになりたいと強く感じました。

小学校で食育教育！

環境を考える部会

環境部会では8月4日（火）に栗ガ丘小学校4年生と伝統野菜の小布施丸ナスの収穫を行いました。本年度は新型コロナウイルス感染症防止による学校休業明けの6月上旬に児童と共に



布施町議員選挙までに法整備などを含め検討していただき、多くの町民の皆さんにも議会に興味を持つきっかけになればと思っています。



私のまちづくり委員会 部員リレー



共育部会 高橋奏子さん

「子どもたちはもちろん、子育てに関わる方の日常が楽しくなるようにお手伝いがしたいと想い活動をしています！」

※次は、交流部会の松島莉央さんです。

生ごみリサイクルによる土作りを行い苗を植えました。楽しみにしていた収穫した丸ナスでのおやき作りは新型コロナウイルスの影響で見合わせとなつてしまいました。収穫時には大きく育った丸ナスに子どもたちはびっくりしていました。

編集後記

まちづくり委員会の活動は今年で13年目を迎えました。集うことは、何かが生まれる面白いこと。人と人をつなげたい。コロナ禍で、様々な集いが中止になりましたが、わたしたちは、できる範囲で、できることを続けていきます。
(市村良江)